



R-18

正義のヒーロー

マイティマイン

怪人チンポを全敗北して

マゾメス堕ちする話

ひなえろん



ド  
オ  
オ  
ン

怪人出現！  
至急避難を  
開始して下さい！



怪人出現！

フ  
ア  
ア  
ア

キ  
ャ  
ー  
ッ

速やかに  
避難を…っ！

ブ  
ブ  
ブ  
ブ  
ブ

ひっ…



ギ  
シ  
ャ  
ア  
ア  
ア  
ア  
!!

き  
や  
あ  
あ  
あ  
あ  
っ  
!!







ギギ!?



誰かー!



もう大丈夫よ



ギイイイツ!

あ…っ  
あなたは…

私たちのヒーロー  
マイティウーマン！

またも怪人を  
やつつけてくれました！

戦いの後だというのに  
なんて静かで優雅な  
微笑みを浮かべて  
いるのでしょうか！

私たちは今日も

彼女に救われました！

感謝の声が街中に響いております！

キャーッ













それは前に先生が  
ヒーローに変身するところを  
目の前で見てしまったから

よく耐えたわね  
タケルくん

男の子なんだから  
泣いちゃダメよ

グッ  
どんな時もあるからね  
正義は必ず勝つんだから

それと私の正体：  
みんなには言わないでね♥

これはボクと先生の  
二人だけの秘密だ





わしの傑作を  
次々と破壊しておって!

怪人ドクターヴェノム



怪人研究所



いまいましい…  
マイティウーマンめ…っ



まさか教師をしているとはな

キイ

ヒヒヒ…  
今に見ている

このワシの頭脳と策で  
ひねりつぶしてくれるわ

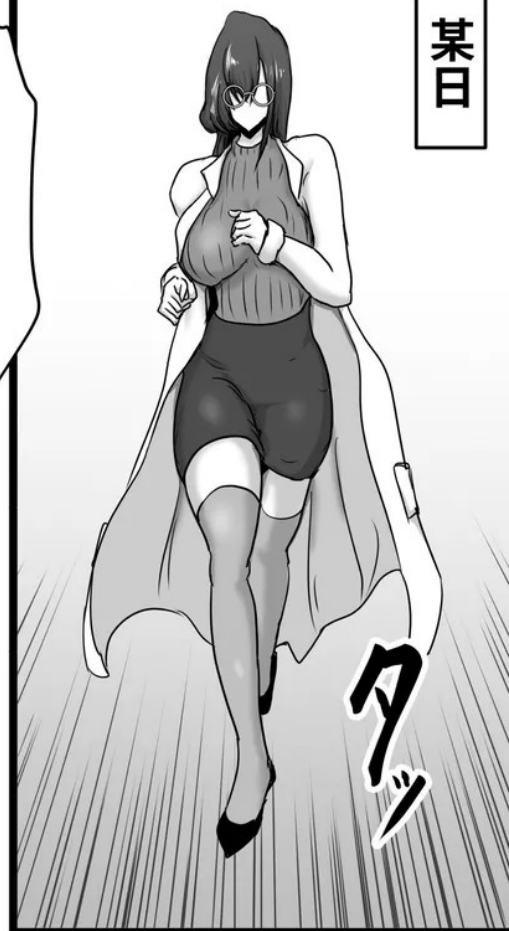


だがあの女の正体  
ついに突き止めたわ!

透視追跡怪人アイ



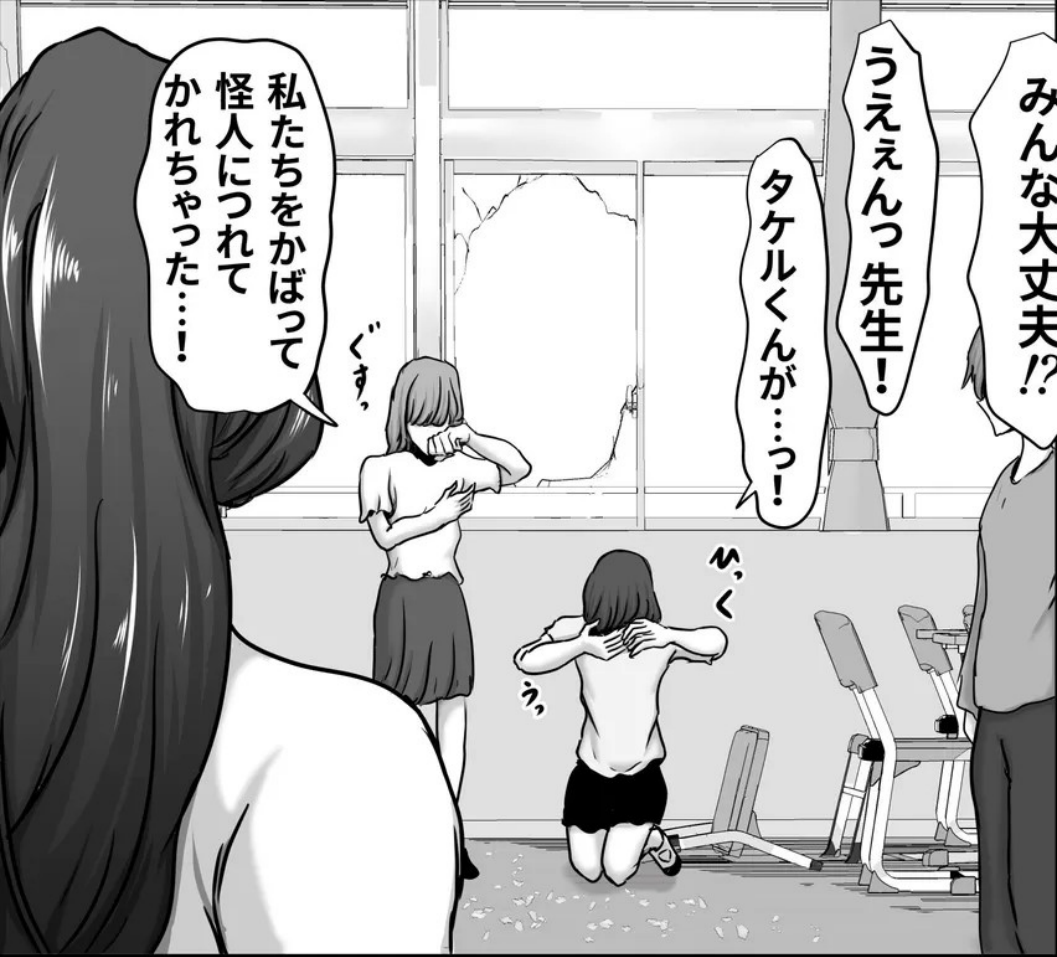
某日



みんな大丈夫!?

うええんっ 先生!

タケルくんが…っ!



私たちをかばって  
怪人につれて  
かれちゃった…!

ぐず

んく

う

微量の  
エネルギー反応…!



!

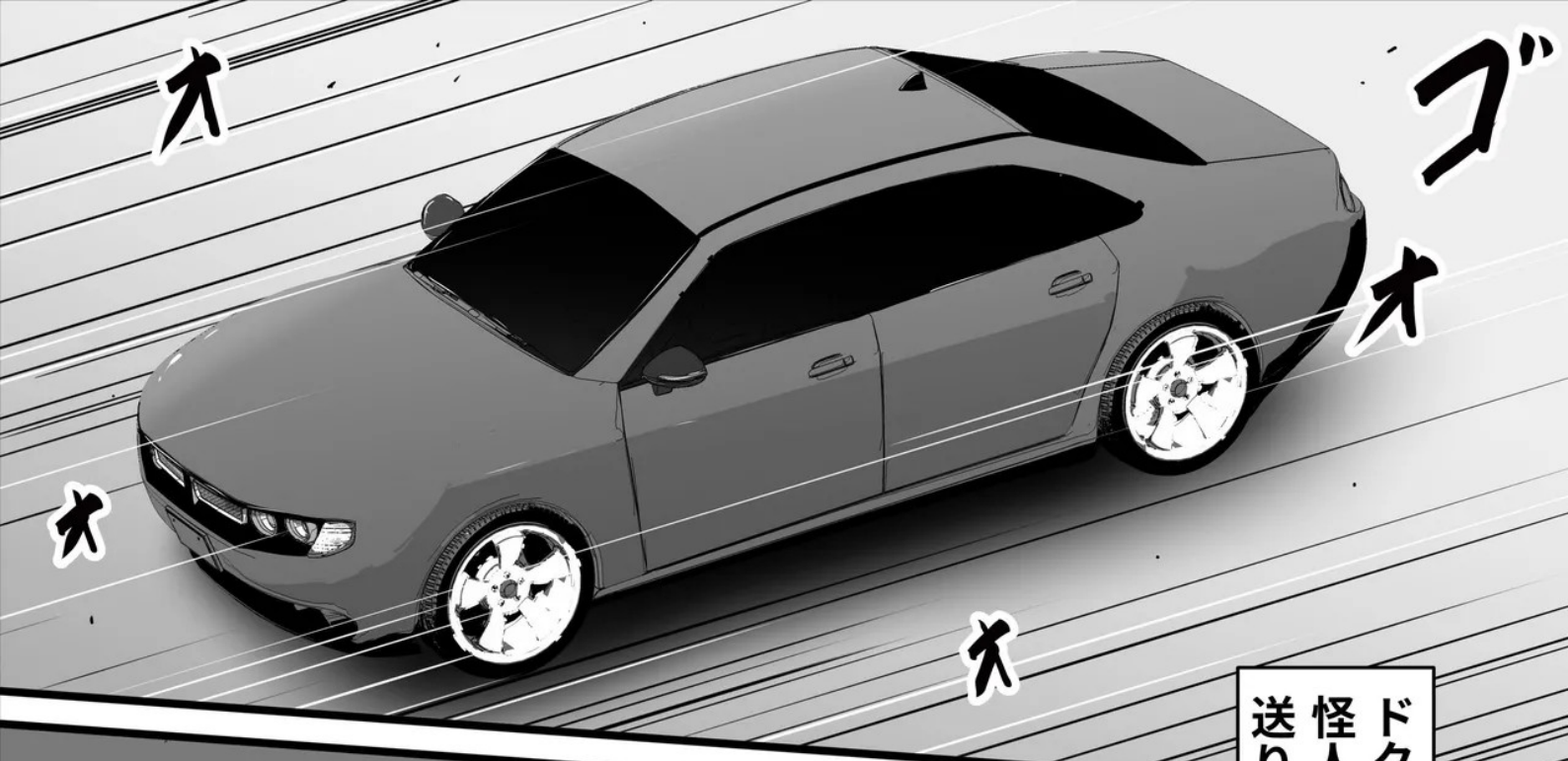
これは…!

※このドクターヴェノム様のところまで来い  
※このドクターヴェノム様のところまで来い  
※このドクターヴェノム様のところまで来い

マイティウーマン ガキは預かった  
助けたければ一人で  
このドクターヴェノム様のところまで来い

場所は——





ドクターヴェノム…  
怪人を作り出し人間社会に  
送り込む諸悪の根源

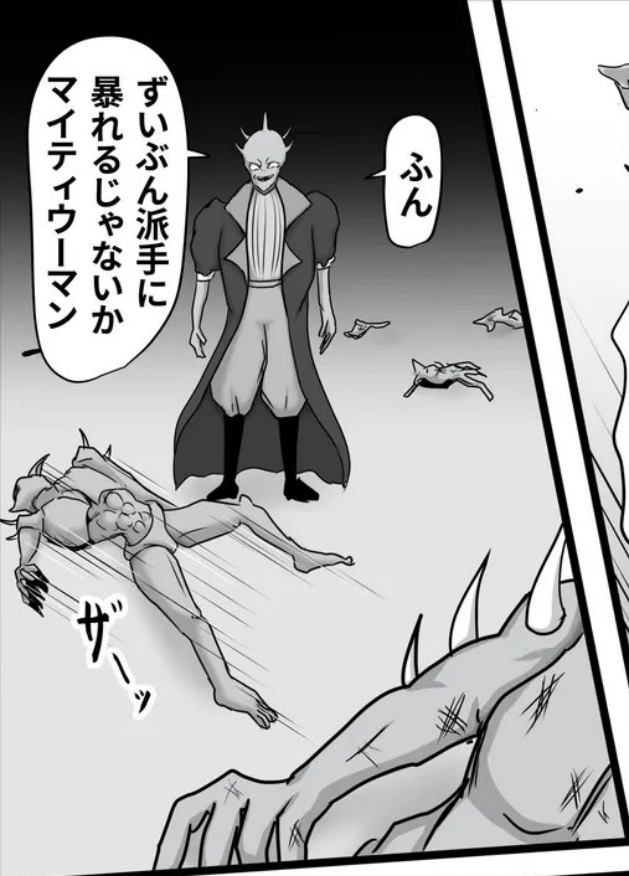
絶対に私が倒す  
もうこの街に危害を  
加えさせない…っ！







ギイイイ!



ふん

ずいぶん派手に  
暴れるじゃないか  
マイティウーマン

ザーッ

まさか自ら居場所を  
明かしてくれるなんて  
思わなかったわ

ドクターヴェノム  
あなたの悪事はここまでよ

自分の立場が  
わかっていないようだな

こちらには  
人質がいるんだぞ?



大人しくしろ  
ヒーローパワーの  
情報をすべて  
吐いてもらおう

これ以上暴れたら  
あのがきがどうなるか…  
わかってるな？

情報を聞き出した後は  
その身体を  
研究材料にしてやる！  
ここからは生かして帰さん！

うふふふ

なに笑って…



!?

なぜここに  
がきが…



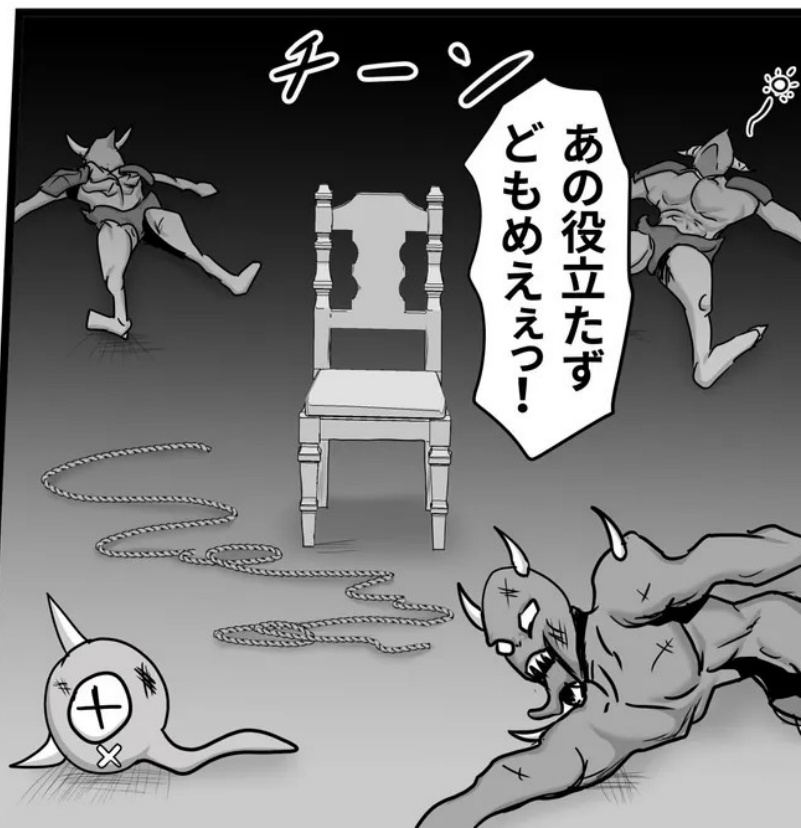
先生はすぐに  
かけつけて  
助けてくれた

本当に頼りになる  
カッコいいヒーローだ



あの役立たず  
どもめええつ！

チーン



か…  
かくなる上は……

キエエエエッ！

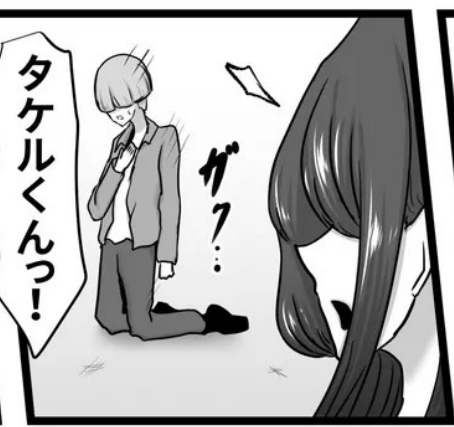
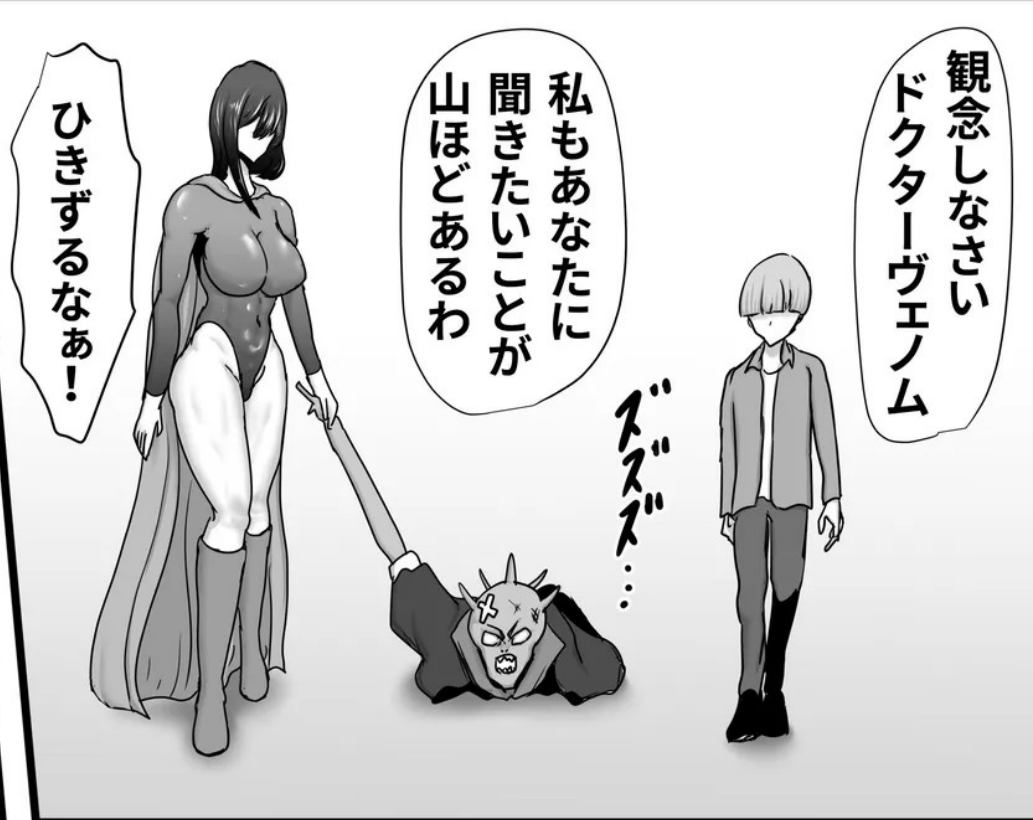






.....うん

ぐぐ







人間に効く遅効性の  
臭気毒をなあつ!

無臭で視認も不可能!  
さすがのお前も  
気付かなかったようだ



こんなこともあるうかと  
あらかじめ  
この建物中に罠を  
仕掛けていたのだ



ヒヒヒ...湧いてくる...っ  
力が湧いてくるぞ!



そしてこの秘薬を  
飲めば...



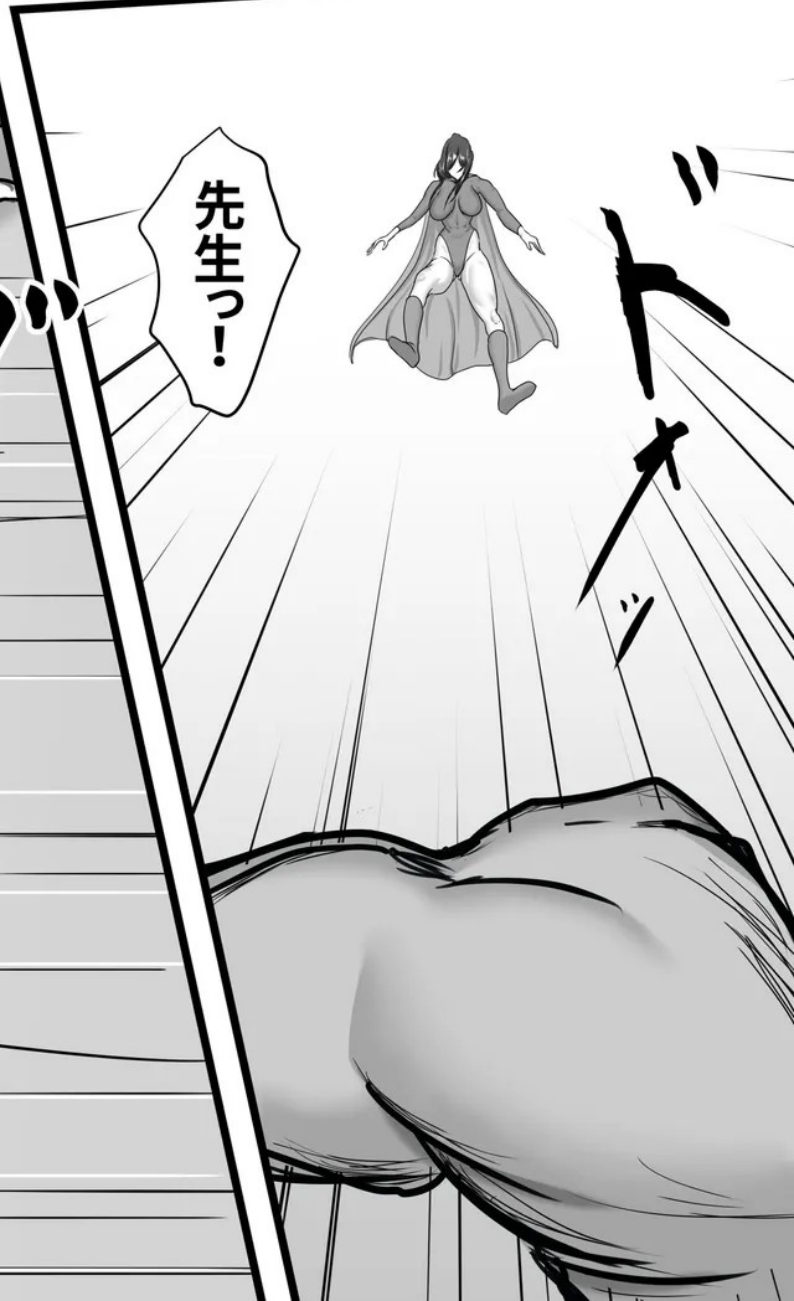
怪人化が進むにつれて  
知性は欠落していくが…

この薬は怪人化を完全に  
コントロールできるように  
調合してある

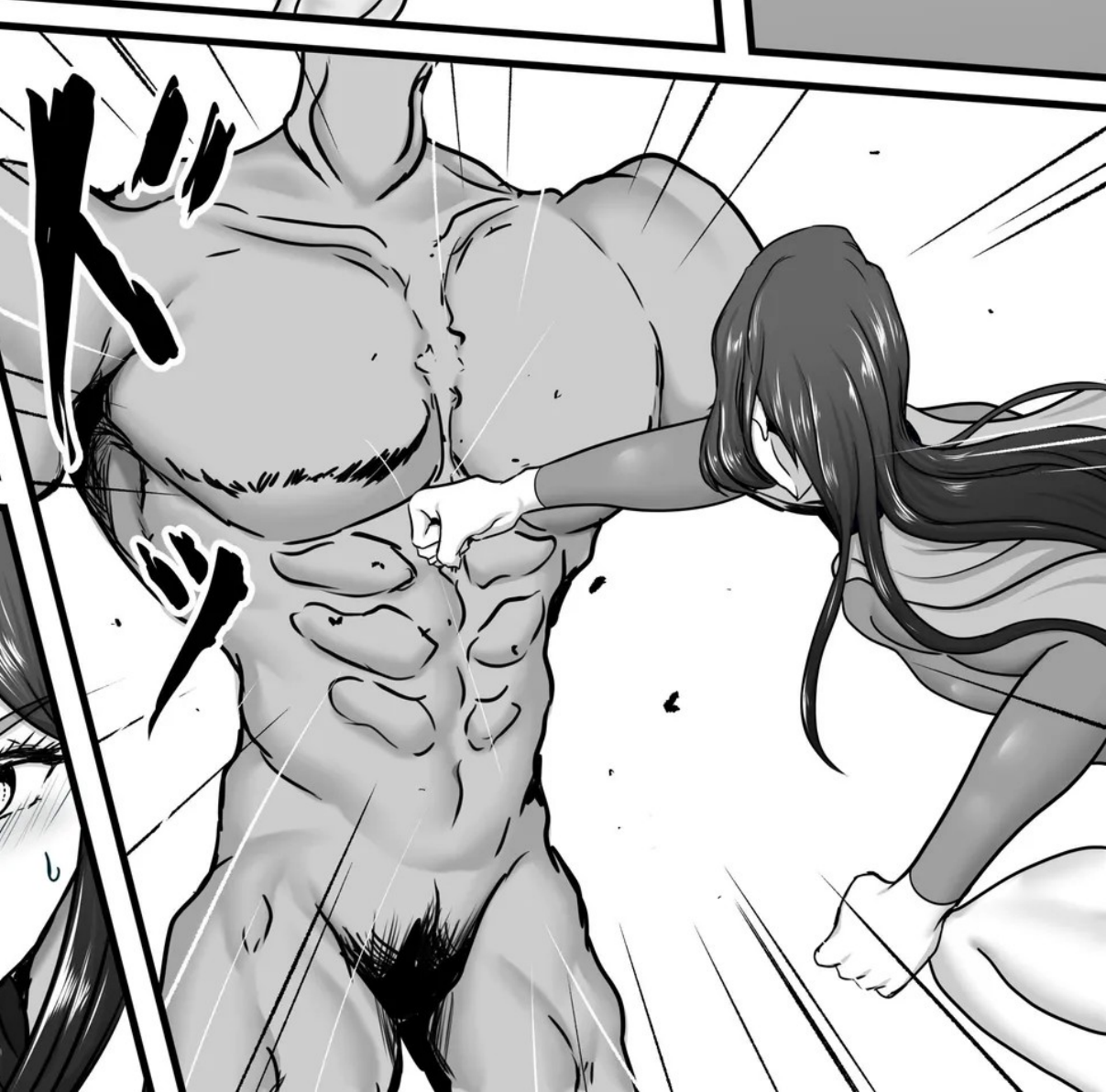
ノーリスクで莫大な力を得ることが出来る  
ワシが発明した超秘薬よ













打撃で  
痛みを受けるたびに  
身体がうずく…っ

身体が…  
熱い…っ！





ヒーローエネルギーとは  
並外れた精神力からくる  
特別な人間の力だ

ワシはそれを  
無力化する方法を  
考えた



お前が吸った臭気毒は  
人間の生殖本能に作用して  
性的快感を格段に倍増させる  
媚薬が含まれている

痛みの刺激さえ  
快感に変えるほどのな

お前がワシの可愛い怪人を  
倒すたびにどうやって  
復讐しようかと考えておった...

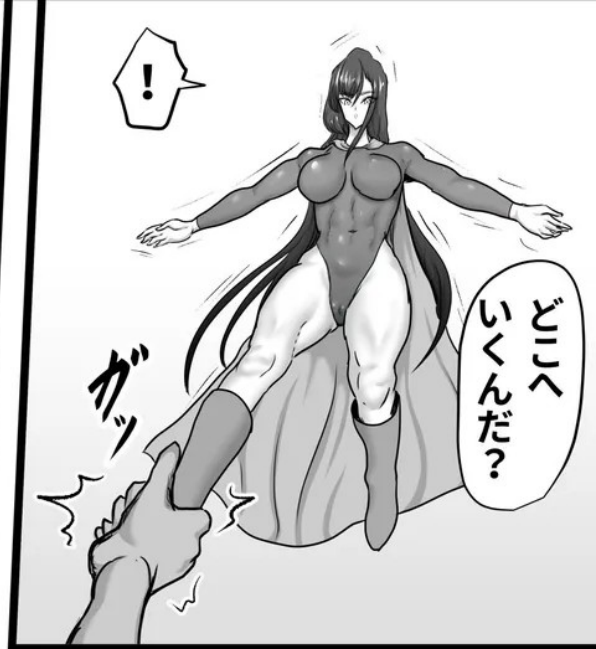


どうやってそのすました顔を  
歪めて無様に這いつく  
ばらせてやろうとな!

精神作用系の毒...  
まずい...っ 距離を  
取りながら戦わなければ...っ



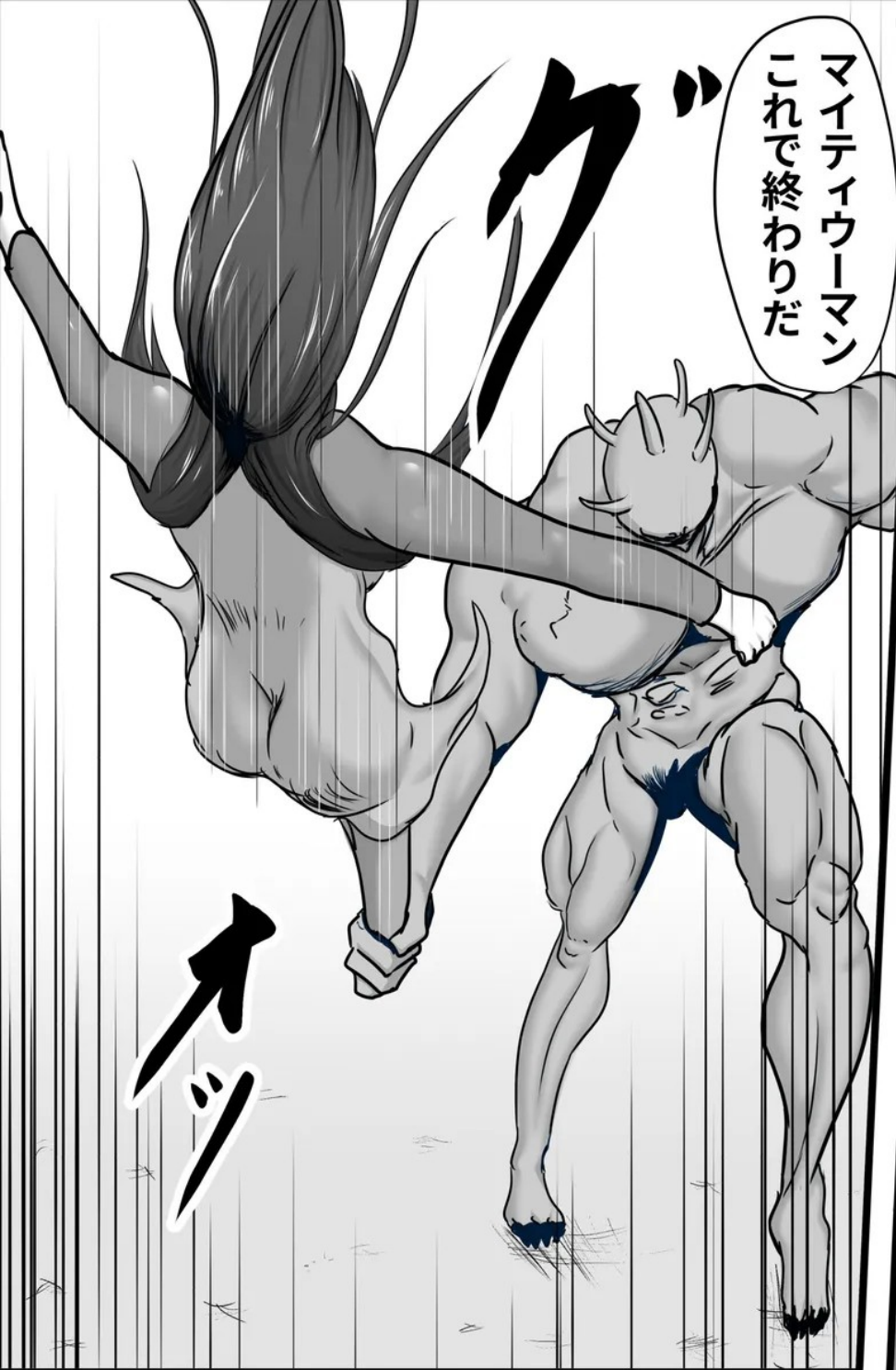




どこへ  
いくんだ？

ガッ

！



マイティウーマン  
これで終わりだ

クッ

ッ



ヒヒヒ…  
もう逃げられんぞ？

しまった！



苦痛と快楽で  
お前の心を支配してやる

や…やめろ…っ！  
先生をはなせっ！



おお 気絶しながら  
絶頂しているようだな

楽しみにしている  
これからもっと  
いたぶってやる

ああつ...

ぐわん

先生っ！

あつ.....

ぐわん

一撃...っ

今までどんな怪人の攻撃を受けても  
ビクともしなかった先生が...!!

そ...  
そんな...っ







ヒヒヒ  
他人を気にしている  
余裕があるのか？



タケルくんは  
気を失ってる  
だけみたい…

いったいあれから  
何時間たったの

ズ  
ズ

ズ  
ズ



お前の意志の強さは  
凄まじいものだ

常人なら  
感度が高すぎて  
気が狂っているだろう

うっ…

んっ！

んんっ！

グ  
グ  
グ

だが… いつまで  
耐えられるかな？

ズ  
ズ  
ズ



鋭く深く突いてくる……っ

ズッ  
ズッ

少し気を抜いたら  
意識が持ってかれてしまう……っ

どうだ？マイティウーマン  
自分が支配されていく  
感覚は？

うっ

バ  
ン  
ン

あっ

ズ  
ム  
ム

ズ  
ム  
ム

ズ  
ム  
ム

くっ……

圧倒的な力と  
精神を蝕む臭気毒……  
ワシの策略は  
完璧だったようだな



ムン……







どうした  
マイティーウーマン  
さっきまでの威勢は？

どんな痛みも  
快感へと変わっていく…

私の心と身体が  
ヴェノムに支配されて  
いくのがわかる…っ

は…っ  
はな…せ…っ！

ずる…

ずいぶん呆けた顔に  
なったじゃないか



こりや面白い！

我慢が出来ない……っ

快感を抑えきれない……っ!!

あゝっ  
あああっ!!

グ  
キ  
ュ  
ッ

ズ  
ゾ

470

又巻



おおっ!!

ま… 負ける…

このままじゃ… ヴェノムに…  
私は勝てない…っ

ビキッ  
ビキッ  
ビキッ





まさか  
あのマイティウーマンが  
こんなに無様に鳴くとはな



まだ…  
私は負けてな……っ

負け犬が  
わめていておるわ

頭を踏みつけられて  
悦よろこんでいるド変態め

悔しくないのか?  
マイティウーマン

ちがつ…

あんっ

おあっ









無様な姿だな

お前を完全に支配するまで  
その身体を蹂躪し続けて  
やるぞ

あつ...

ああつ...

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ゴッポ...

あつ...

ビク...





ハッ

ズン

うっ… いつの間に  
気絶してたんだろう

まだ身体がマヒしてる…

ズン

ズン

なんだろう  
この音は…

ハッ

あ… あれは…

せ…  
先生…？

ハッ

ズン

ズン

ハッ

薄暗い部屋の中  
目を凝らすと…

怪人にのしかかられ  
力なくこちらを見つめる  
先生の姿があった



ああっ

残念だったな  
頼りのヒーローもこのザマよ

ガキが…  
目を覚ましたか？

そうだ先生は…  
この怪人にやられて…！





ワシに全てを  
ささげるまで  
もう少した

あっ…

クワッ

ハア

あ…っ



クワッ

あっ…!

クワッ

クワッ

ああっ!

どんなに  
痛みつけても  
嬌声を上げる  
マゾ女に  
成り下がったぞ



そんな… 先生が  
手も足も  
出ないなんて…っ



あああんっ!

クワッ

クワッ

クワッ





おごほっ!

楽しみに待って...



ヒヒヒ...ガキ  
この女の次は  
お前だ



なっ...

私の.....っ



私の...生徒に...  
絶対に手を出させないわ!



先生!





時間が経って  
少しは動けるようになってきた…  
まだ私は戦える…っ！



ガキの前でいい格好を  
したいのか？

まったく……



そうだ先生はいつだって  
あきらめない！  
あの時…  
ボクと約束したんだ！





無駄なんだよ!!

!!

グッ

いくら  
抵抗したところでなあ!!

ア









快感が強すぎて…  
力が入らない…っ

意識が…朦朧として…  
このままじゃ また…  
気絶してしまう…



タケルくん…っ！



先生！

そんなやつに負けないでっ！





はあああああ

ほう……

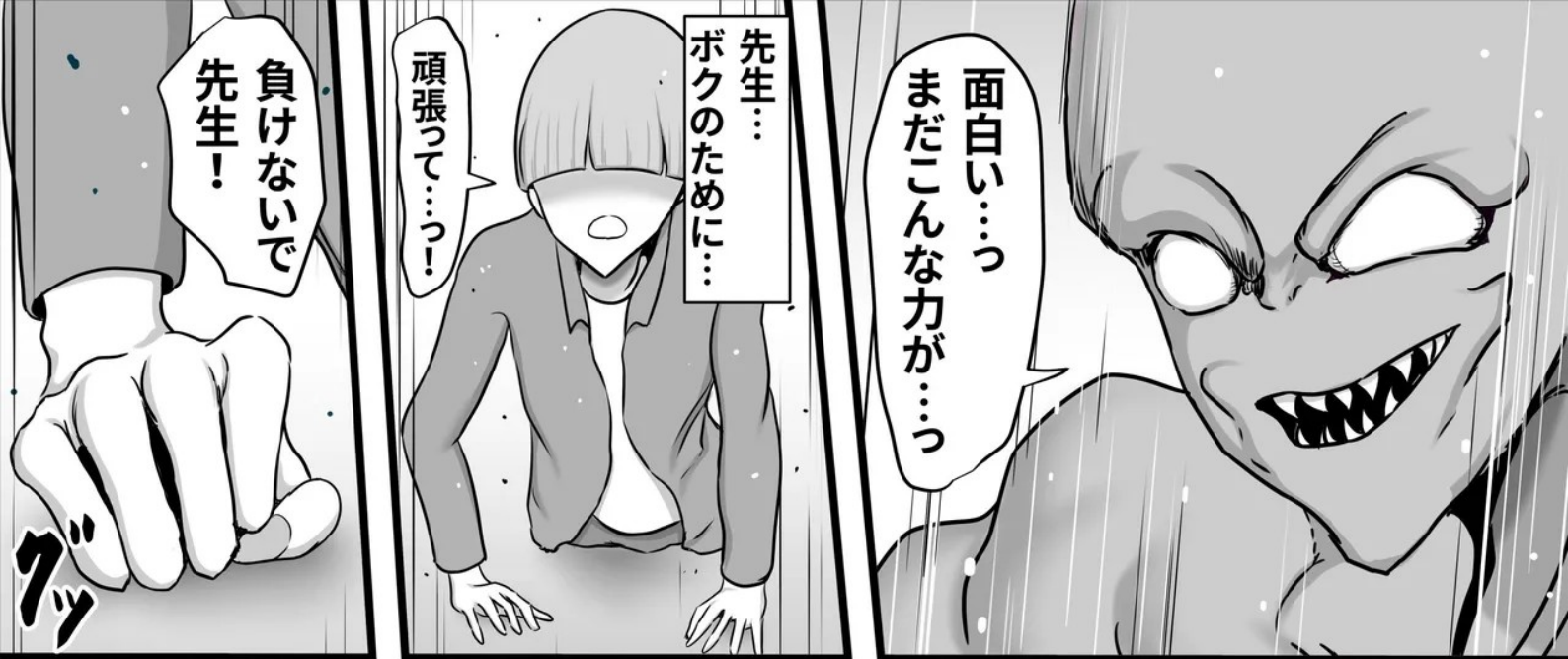
そうよ……！  
どんな時も  
あきらめないって……

私はあの子と  
約束したの！









面白い…っ  
まだこんな力が…っ

先生…  
ボクのために…

頑張っ…っ!

負けないで  
先生!

クッ



ヒーローパワーを  
一瞬で解放する大技…!

でも…この技を使えば  
大きな反動がきてしまう!  
チャンスは一度だけ…っ!



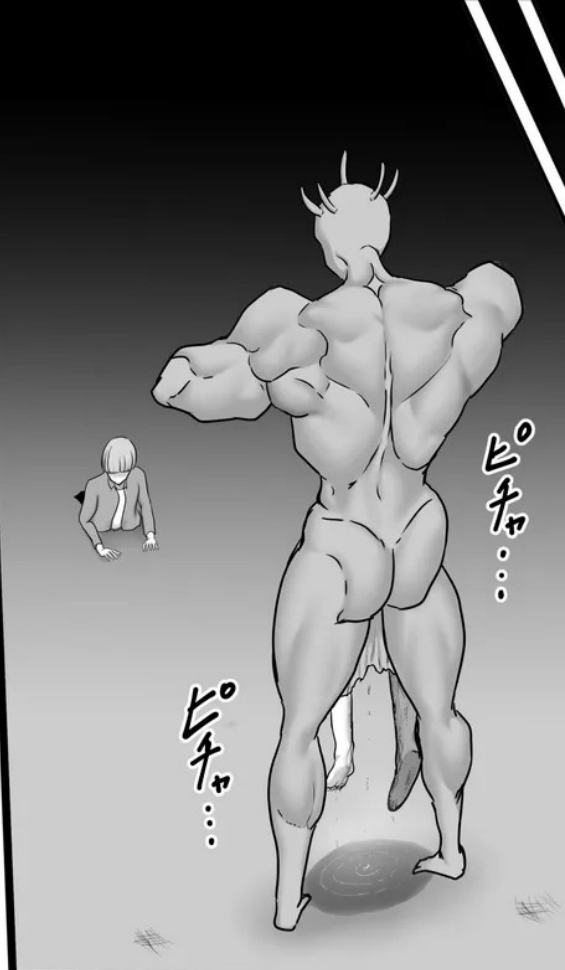
私は……  
絶対に負けられない!!







ドチャ



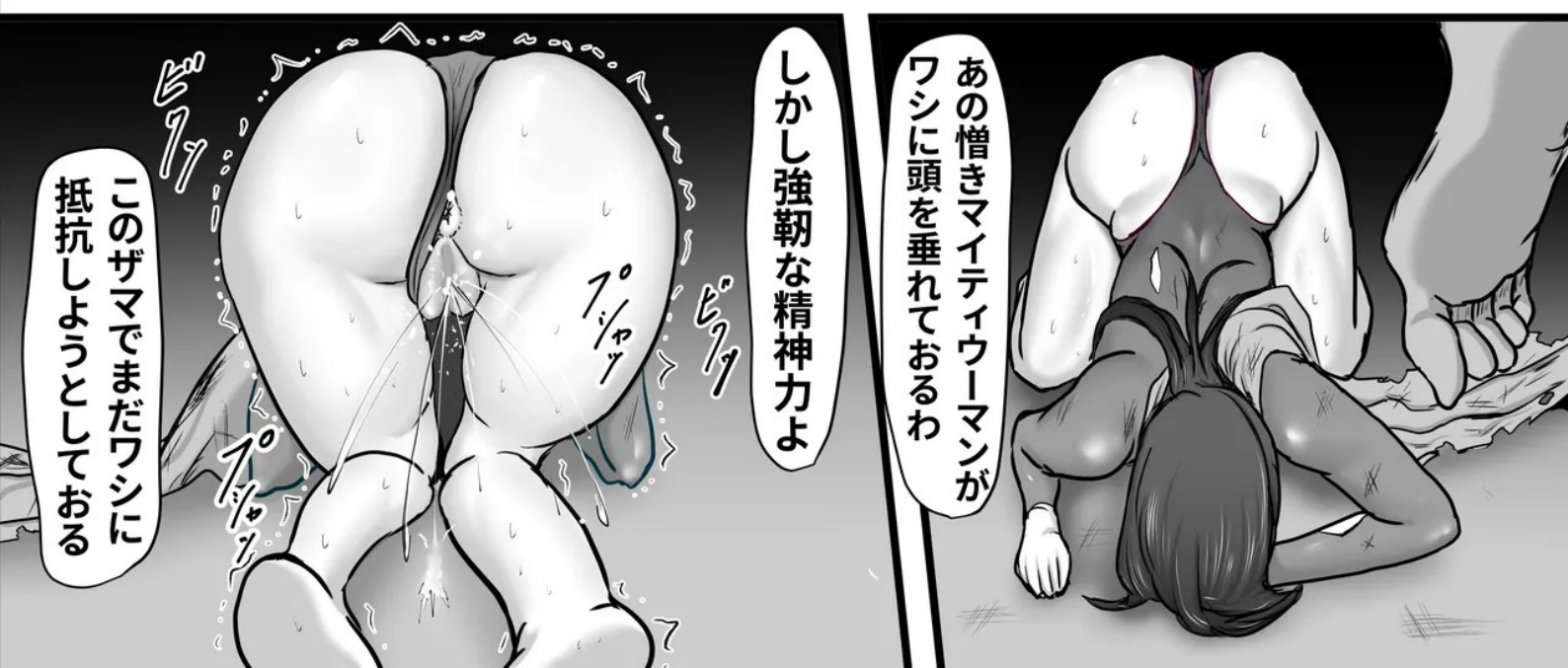


勝負あつたな  
マイティウーマンよ

先生——っ!!

ゴ  
お  
お  
お











その後も先生は  
懸命に身をよじって  
抵抗していた

あんなに強かった先生が  
怪人の指一つで  
もだえて身体を痙攣させていた

そのたびに性器から水が  
勢いよく噴き出した

しだいに声が濁ってきて  
声色もどんどん甘くなつて…

先生の抵抗する声が  
聞こえなくなった頃…

やめ…  
て…っ

あんっ！

あんっ♡

イぐっ♡

…っ♡

あああ♡

あっ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

グ  
ズ  
ズ

グ  
ズ  
ズ

フ  
ィ  
ィ  
ィ

フ  
ィ  
ィ  
ィ

フ  
ィ  
ィ  
ィ

フ  
ィ  
ィ  
ィ

…♡

…♡



先生は  
負けちゃったんだ…

あっ…♡

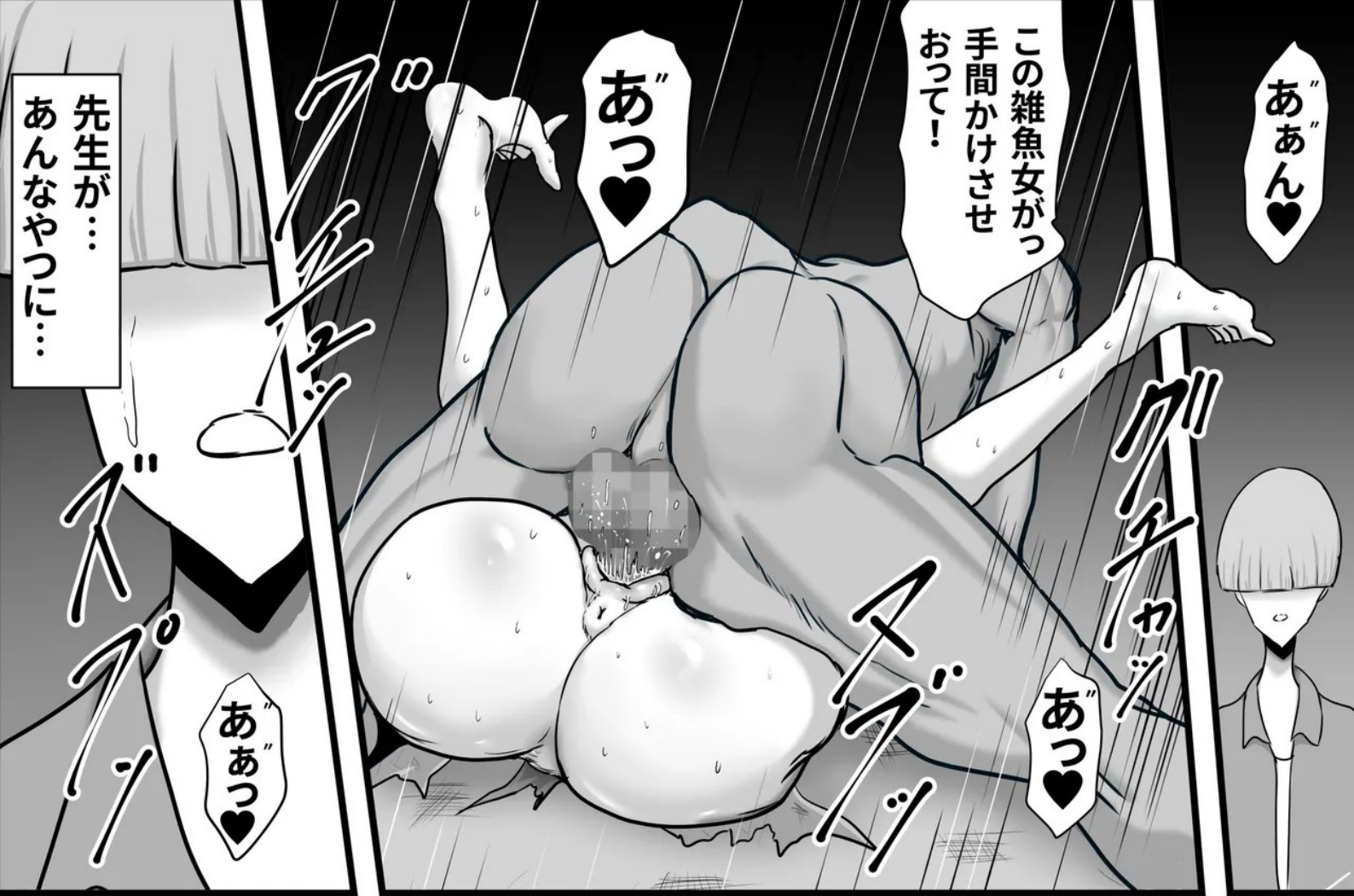
トキトキトキ…

怪人の  
されるがままになって  
何度も絶頂し続けて

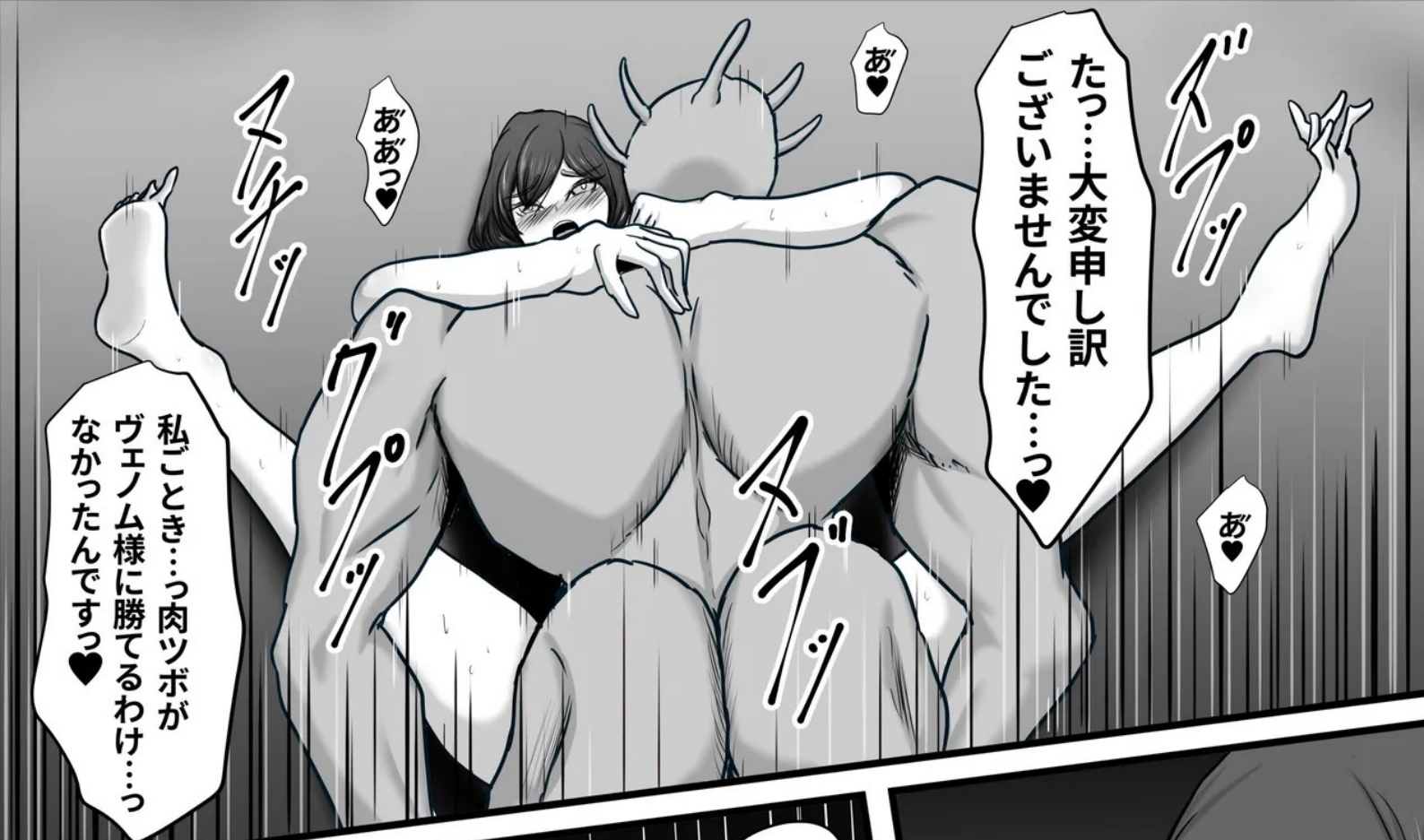
弛緩しきった先生の顔を見て  
ボクはようやく悟った











たっ…大変申し訳  
ございませんでした…っ♡

あ♡♡

あ♡

あ♡

私ごとき…っ肉ツボが  
ヴェノム様に勝てるわけ…っ  
なかったんですっ♡



私はヴェノム様に…っ  
屈服しました♡

従順になったじゃないか  
マイティウーマン

ヒヒヒ  
これからワシが  
お前の主人だ

この身体…  
好きに  
お使いくださいっ…

んっ♡

んっ♡

んっ♡

は…  
はいっ♡





おい どうして  
欲しいんだ？

身体が…っ壊れるくらい  
もつと痛めつけて…  
激しくぶち犯してくださいっ！！

あんっ！！♡

私をもっと…っ  
蹂躪して下さいっ！！

ああんっ！！♡

あんっ！！♡



私はぶたれて悦ぶ  
マゾ女なんです…っ♡

ヒヒヒ  
よく言えたじゃないか

こ…こんな気持ちいい…っ  
身体に作り変えて頂きっ  
ありがとうございます…っ♡



わ…私は…っ  
ヴェノム様に愚かにも挑み  
完全敗北した  
馬鹿メスですっ♡

この身の程知らずが  
二度と逆らえ  
ないように…♡

ズン

グググ

イクっ♡

も…もっと暴力的に  
蹂躪して格の違いを理解  
させてくださいっ♡

あっ♡

おんっ♡

負け犬根性が  
沁みついてきた  
ようだな

は  
はいっ♡  
私は闘志折られて  
鳴く事しか…  
で…できなくなった  
負け犬ですっ…っ♡

んおおっ♡

グググ

い…今までの無礼…  
どうか お許し  
ください…っ♡

グググ

グググ

グググ



ほうびに  
怪人の優秀な  
子種をやるう

あああんっ♡♡

ブルブルル

ト

ヒッヒッヒ  
しっかりと顔にも  
かけてやるぞ

あ…ありがとう  
っごいます…っ♡

ドホッ  
ドホッ

あのマイティウーマンが  
ワシの陰茎に  
すがりついて離さんわ

すりすり

ハア

もっと…もっと  
ヴェノム様…っ♡



いいだろう！  
このド変態ヒーローめ

あ…  
ありがとう  
ございます…っ♡

ヴェノム様♡

雌の悦びを  
与えて下さって…っ♡

あぁあっ♡

トロキ…

あっ♡  
あぁ♡♡♡

グチャ…

わ…私は…  
幸せです…っ♡









おい  
どうだガキ

今度こそこの女は  
ワシのものだ…

とれだけなぶつても  
快楽でヨガリ狂うマゾ女に  
成れ果てたぞお

あつ♡

あ'んつ♡

ヴェノム様♥そのたくましい肉棒で私をもっと突き上げてくださいっ♥私の身体に“負け”をもっと刻み込んで下さい…っ♥











だからね

先生と  
一緒に頑張ろ！

怪人に襲われて  
怖かったと思うけど

タケルくんも  
負けないで欲しいの

絶対に  
強い男の子になってね

それまでは先生が  
どんな怪人だってやっつけて  
あげるんだから

約束よ♥



ガキ一人守り切れず

呆気なかったなあ  
マイティウーマンよ

お  
お  
おっ  
♡

おっ♡

あつ……♡

あつ…♡

# ענענע...

これで  
ワシのヒーロー研究は  
更に飛躍するぞ

おっ……♡

ドロオ...





身体のシビレが  
消えてる…っ！

クッ…



身体が…温かい…

これは…  
先生の力…？

ホク…



ヒヤハハハハ！

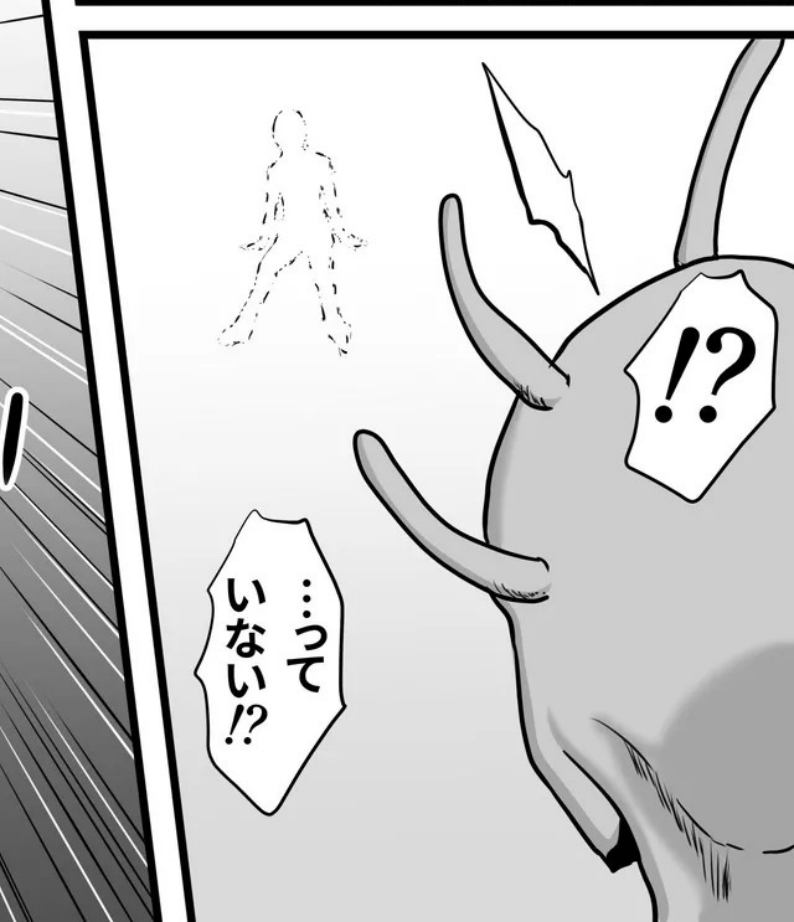


先生… 待ってて！

絶対ボクが  
救ってみせるから！



さて… おいガキ  
次はお前の番だ



!?

…って  
いない!?



■作者 ひなえろん  
■X @hinaeron  
■Mail hinaeron@gmail.com

この度はご購入いただき本当にありがとうございました。  
変身ヒーローものは意外と今までやってなかった題材でした。  
凛々しいヒロインがどんな感じで怪人に負けるかを考えるのが  
難しかったり楽しかったりする作品でしたね。  
気付いたらページ数もどんどん多くなっていてしまいました・・・！  
少しでも楽しんで頂けたなら幸いです。





